

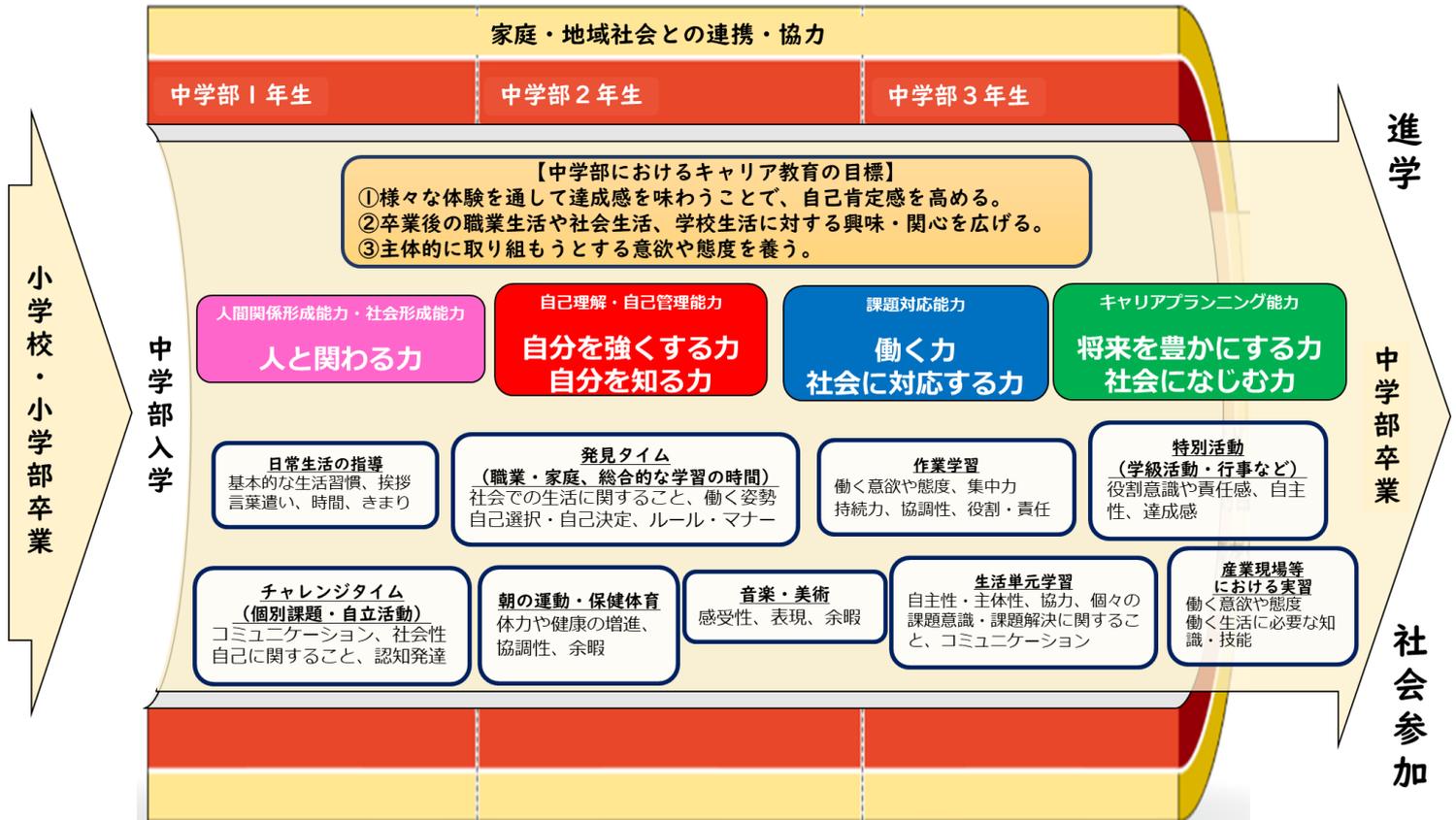


# 進路・移行支援部だより

令和4年12月9日発行 文責：石井

## 【今回のテーマ】キャリア教育について～中学部段階での進路指導～

「将来はなにをしているかな?」「今やっていることが、将来どう役に立つの?」皆さんは、そんなことを考えたことはないでしょうか? 中学部段階になると、社会への入口が少しずつ見えてきて、高等部への進学や就職など、自分の進路について考えたり、気になることを調べたりする時期でもあります。そのため、教育活動においても『働く生活』を意識した取り組みが増えていきます。では、中学部ではキャリア教育について、どのようなポイントを押さえて指導に取り組んでいるのか、イメージ図をもとに紹介します。



**3年生で大切にしていること**

- 社会自立に向けた力を高める。
- 新しいことに挑戦する。
- 自分なりに課題をもって活動に取り組む。
- 自分の進路に対する関心を高める。

**2年生で大切にしていること**

- 協力・協働するための力を身に付ける。
- 自信をもって活動に取り組む。
- 目標を決めて活動に取り組むことができる。
- 働くことへの意欲を高める。

**1年生で大切にしていること**

- 集団生活に必要なルールやマナーを身に付ける。
- 自分の役割を果たす。
- 予定や時間を理解して活動に取り組む。
- 働くことに興味をもつ。



## ◎中学部の生活における進路指導の取り組み

ここからは、中学部の生活の中心である「生活単元学習」と「作業学習」の場面を例に、具体的にどのような学びがあるのかを見てみましょう。これらの学習で身に付けた力は、「産業現場等における実習」などを通して、実践的に活用され、一層の定着が図られていきます。

### <生活単元学習>

生活の中にある一連の活動に取り組み、自立に必要なことを体験的・实际的に学んでいます。



つかめる水を使って、本物そっくりで作られている食べ物は なんてでしょう？

- 1 いくら
- 2 タピオカ

「附属小学校のみんなに実験パフォーマンスを届けよう」という学習では、「小学生のみんなが楽しめる発表」という共通の目標をもち、協力して達成することで、主体性やコミュニケーションの力を育みました。

### <作業学習>

将来の職業生活や自立に必要なことについて、作業活動（やきもの・えんげい・あいぞめ）を通して学んでいます。



そめむらをなくすぞ！

オススメはこちらです！

製品作りを通して、任された役割を果たす力、集中力や持続力、報告・連絡・相談など働くことに必要な知識や態度を育みます。年に3回ある販売会では、接客を通して、働く意欲や社会性を育みます。

### <産業現場等における実習>

・学年ごとに校内や事業所で3週間の実習を行い、実践的な働く力を身に付けます。



#### 1年生 校内実習

- ・受注品の仕分け  
(株式会社 キッズパワー)
- ・軽作業 (シール貼り)



#### 2年生 校内実習・千葉大学

- ・集草、受注作業 (校内)
- ・集草、窓掃除、机拭き (千葉大学)



#### 3年生 校内実習・勤労市民プラザ

- ・集草、受注作業 (校内)
- ・集草、窓掃除、机・椅子拭き(勤労市民プラザ)

今回は中学部での学習の一部をピックアップし、キャリア教育の視点を交えて紹介させていただきました。キャリア教育は「働く力」だけではなく、「暮らす力」や「楽しむ力」といった生活を豊かにするための「生きる力」を育てていくものです。今回紹介した場面だけではなく、中学部の生活全般で取り組んでいます。

改めて振り返ると、普段の生活から『自立』に向けたヒントが見つかるかもしれません。将来のために何ができるのか、何が必要なのかを、学校と家庭で連携をしながら考え、子ども達の成長を一緒に支えていきましょう！